

平成28年6月14日

学生各位

佐賀大学学生生活課

「平成28年度日本学生支援機構優秀学生顕彰」募集について

日本学生支援機構（JASSO）より「平成28年度日本学生支援機構優秀学生顕彰」募集についての案内がありましたので、在学生の皆さまにお知らせします。

JASSO では、経済的理由により修学に困難がありつつも、優れた業績を挙げた学生・生徒に対して、これを奨励・支援し、21世紀を担う前途有望な人材の育成に資することを目的として、多くの方々から寄せられた寄附金を基に優秀学生顕彰を行っています。

申請に当たっては募集要項を熟読の上、不備がないようにしてください。申請書類は日本学生支援機構ホームページからダウンロードしてください。結果は顕彰候補者のみに通知する予定です。

■応募資格

学部3年生以上で JASSO の第二種奨学金の推薦基準を満たしていると学長が認める者

■募集分野

A.学術、B.文化・芸術、C.スポーツ、D.社会貢献、E.産業イノベーション・ベンチャー、F.国際交流

■奨励金

大 賞：奨励金 50 万円、優秀賞：奨励金 30 万円、奨励賞：奨励金 10 万円

■学内申請締切日

平成28年7月29日（金） 厳守

■申請書類提出先

佐賀大学学務部学生生活課 課外・生活支援担当 （TEL：0952-28-8175）

■概要・応募書類等

募集要項は下記の JASSO ホームページからダウンロードしてください

（右の QR コードからも移動できます）

<http://www.jasso.go.jp/sp/about/organization/kensyo/youkou.html>

必要書類については「4. 応募書類」を参照してください。

紙と電子データの両方の提出が必要な場合もあります。

学内提出期限内に不備のないよう申請してください。

募集要項



問い合わせ先

学務部学生生活課 課外・生活支援担当

TEL 0952-28-8175

Mail kagai@mail.admin.saga-u.ac.jp

平成28年度

輝け！優秀学生顕彰

JASSO Students of the Year

未来を担う学生の努力と業績を称え応援する
優秀学生顕彰に、ぜひあなたもご応募ください。



応募は在籍する学校窓口まで

学校から機構への応募締切： **平成28年8月31日（水）**

※各学校の締切りは学校窓口にお問合せください。

応募分野

学術 文化・芸術 スポーツ 社会貢献 国際交流 産業イノベーション・ベンチャー

奨励金

大 賞：50万円 / 優秀賞：30万円 / 奨励賞：10万円

未来を担う学生の「頑張る」を応援します。



独立行政法人
日本学生支援機構
JASSO Japan Student Services Organization

独立行政法人 日本学生支援機構 (JASSO) ^{ジャッソ} 平成 28 年度 優秀学生顕彰

JASSOでは、経済的な理由により、修学に困難がありつつも、優れた業績を挙げた学生・生徒に対して、これを奨励・支援し、21世紀を担う前途有望な人材の育成に資することを目的として、多くの方々から寄せられた寄附金を基に優秀学生顕彰を行っています。

応募の概要

1 応募資格及び分野

次の応募資格を満たし、かつ応募分野において優れた業績を挙げた者を対象とします。

(1) 応募資格

大学(学部)の3年生以上、短期大学の2年生以上、高等専門学校5年生以上、専修学校専門課程の2年生以上で、かつ本機構の第二種奨学金の推薦基準を満たしていると学校長が認める者。

(2) 分野

A: 学術 B: 文化・芸術 C: スポーツ D: 社会貢献
E: 産業イノベーション・ベンチャー F: 国際交流

2 奨励金

大賞: 50 万円、優秀賞: 30 万円、奨励賞: 10 万円

3 応募方法及び締切

応募は在学を通じて行います。応募者は在籍校で決められた締切日に従い、学校の窓口へご応募ください。
(在籍校から機構への締切は平成28年8月31日です。)
※提出書類は紙に出力したものと、電子データの両方をご提出ください。
書類は機構ホームページからダウンロードしてください。

<http://www.jasso.go.jp/about/organization/kensyo/youkou.html>

4 入賞者の決定及び通知

応募者の実績及び将来性などの観点から、選考委員会の厳正な審査のうえ入賞者を決定し、推薦のあった学校長宛に結果を通知するとともに、機構ホームページ等で公表します。

5 表彰式

表彰式は大賞・優秀賞に入賞した者を対象として行います。奨励賞入賞者については、在籍する学校を通じて表彰状を授与します。

表彰式開催日 平成 28 年 12 月 10 日 (土)

※表彰式に出席できない受賞者は、受賞をご辞退いただく場合があります。

6 入賞者の会

本顕彰の入賞者は、「JASSO 顕彰学生の会 (JASSOYAA/ジャッソ・ワイエイエ)」の会員となります。

※会員には機構の広報活動へご協力いただくことがあります。

この応募の概要は、本事業の「平成28年度 日本学生支援機構 優秀学生顕彰の手引き」の内容をまとめたものです。
「手引き」の内容はホームページにてご覧いただけます。

<http://www.jasso.go.jp/about/organization/kensyo/index.html>

お問い合わせ

独立行政法人日本学生支援機構
政策企画部 広報課

〒162-8412 東京都新宿区市谷本村町10-7
電 話: 03-6743-6011
FAX: 03-6743-6662

ご提出をいただいた情報は、本顕彰にのみ利用します。その他の目的には利用されません。ただし、入賞者については、いただいた情報の一部を機構の広報に使用場合があります。

平成 27 年度 優秀学生顕彰 大賞受賞者一覧

(分野別・五十音順)

《学術分野》 4名

黒澤 珠希 昭和大学 薬学部薬学科 5年

【細胞生物学】IL-6ファミリーOSMによる骨形成調節機構の解明。OSMは細胞接着因子ネフロネクチンの発現制御を介し、骨芽細胞の分化を調節することを明らかにした。国内学会発表。国際学術誌掲載。

小谷 紘史 山梨大学 医学部医学科 6年

【ゲノム編集】ゲノム編集技術の開発。CRISPR/Casシステムというゲノム編集技術を従来の方法から改良し、ゼブラフィッシュにおいて遺伝子改変をより簡便かつ効率的に行うことに成功した。国際学術誌掲載。国際学会発表。

深川 彰彦 山梨大学 医学部医学科 6年

【癌細胞研究】がんの細胞生物学的研究。がん悪性化に関わっている上皮間葉転換に関する研究。上皮マーカーであるE-カドヘリンがδEF11によって強力に抑制されるメカニズムを解明。国際学術誌掲載。国内学会、国際学会発表。

松本 侑也 大阪府立大学 工業高等専門学校

総合工学システム専攻 機械工学コース 2年

【PEFC特性診断開発】固体高分子形燃料電池スタックの特性診断法の開発。国際学会発表および国際学術誌に2度掲載。国内学会では特別賞を受賞。2015年11月に国際学会(Fuel Cell Seminar & Energy Exposition 2015)にて発表予定。

《文化・芸術分野》 1名

村井 祐希 多摩美術大学 美術学部 絵画学科油画専攻 3年

【現代美術】第18回岡本太郎現代芸術賞特別賞受賞(史上最年少)、トーキョーワンダーウォール公募2015入選、第2回CAF賞優秀賞受賞 など。

《スポーツ分野》 6名

大瀬戸 一馬 法政大学 スポーツ健康学部

スポーツ健康学科 コーチングコース 3年

【陸上短距離】第2回ワールドリレーズ 4×100MR 3位、第1回ワールドリレーズ 4×100MR 5位、ユニバーシアード2015 4×100MR 1位、第98回日本選手権 100M 4位

計盛 光 大阪体育大学 健康福祉学部健康福祉学科 3年

【シンクロナイズドスイミング】シンクロナイズドスイミング日本代表選手として、世界水泳選手権大会、ワールドカップ、アジア選手権大会、ユニバーシアード競技大会に出場し、好成績を残した。

瀬戸 大也 早稲田大学 スポーツ科学部スポーツ科学科 3年

【水泳】第15回世界水泳選手権 400m個人メドレー 優勝、第11回世界短水路選手権 400m個人メドレー 優勝、第12回世界短水路選手権 400m個人メドレー 優勝、第12回パナパシフィック選手権 200mバタフライ 優勝、第17回 アジア大会 200mバタフライ 優勝。



平成27年度 スポーツ分野 大賞
瀬戸大也さんよりメッセージ

皆さんは既に得意な事や熱中できる
ことを見つけられていますか？

まだ見つけられてない人もいますが、得意な事や熱中できる事を見つけることによって何かの目標ができたり色々な事へのチャレンジができます。そういったチャレンジの成功や失敗を経て人間的にも成長して行くと思います。学校生活でも自分が履修した科目を勉強するのももちろんですが、友人関係や部活動等でも沢山のことがあるといいます。これからの人生色々な経験を、勉強をして、そして失敗を恐れずチャレンジをして、どんどん成長して人間的に尊敬されるような人を目指しましょう。人間やればできる！

竹ノ内 佑也 筑波大学 体育専門学群 4年

【剣道】平成25年ワールドコンパクトゲーム(18歳〜25歳)優勝し、平成26年第62回全日本剣道選手権大会優勝、平成27年第16回世界剣道選手権大会個人2位、団体優勝。

土性 沙羅 至学館大学 健康科学部健康スポーツ科学科 3年

【レスリング】平成26年度は、国内大会の明治杯全日本選抜レスリング選手権大会及び天皇杯全日本レスリング選手権大会69kg級で優勝、アジア選手権大会69kg級で優勝、レスリング世界選手権69kg級では第2位と活躍をした。平成27年度は、明治杯全日本選抜レスリング選手権大会69kg級で優勝している。

藤田 慶和 早稲田大学 スポーツ科学部スポーツ科学科 4年

【ラグビー】ラグビーセvens世界大会でベスト8になり、18トライをとった。アジアではMVPになり、4年間優勝。2015年のワールドカップ出場権を獲得し、ラグビーの世界代表選出。

《社会貢献分野》 1名

林 隆太 山梨県立大学 国際政策学部

国際コミュニケーション学科 4年

【観光客誘致活動】NHK朝の連続小説とタイアップし、山梨県に観光客を誘致するための情報発信やイベントの企画活動を実施。活動による全アクセス数は90万件超え、山梨県知事より、「おもてなしのやまなし県知事表彰」受賞。

《国際交流分野》 2名

橋本 悠 立命館大学 国際関係学部国際関係学科 4年

【日本ミャンマー学生会議設立】史上初の日本ミャンマー学生会議(通称IDFC)を代表として設立。国際交流基金などの協力を得て2014年12月に実現。両国の大学生が、社会問題解決をテーマとした約1週間のキャンプを通じ、絆を深める機会を創った。

安居 綾香 同志社大学 グローバル地域文化学部

グローバル地域文化学科ヨーロッパコース 3年

【日本ルワンダ相互理解】日本ルワンダ学生会議という日本とルワンダの相互理解を理念とした学生団体に所属し、両国の経済発展の一つの鍵となる「観光産業」をテーマとしたフィールドワーク形式の学生会議を京都において催した。複数の助成団体に協力いただき、5名のルワンダ人学生を日本に招聘し、文化・政策・企業の各面から京都の観光産業について学びを深め、ルワンダの観光産業の発展と課題について考察を深めた。